

委員からの御意見・御提言

(いわて県民計画(2019～2028)第1期アクションプランー地域振興プランー(県央広域振興圏)について)

〔「地域振興プラン」における重点施策項目順〕

	重点施策	委員氏名	御意見・御提言	回答担当
1	1-(1) 保健福祉	臼井 名津子委員	若年層からの肥満対策として具体的にどんなことを取組んでいくのか。子供への食育はもちろんだが、親子一緒に学ばないと意味がないと思う。忙しい中でも親子で連携して食事を用意することの意義を教える場などあってもいいように思う。	保健福祉環境部
2	1-(1) 保健福祉	臼井 名津子委員	障がいをもつ方の就労支援施設でも健康づくりができる取組もしていただきたい。	保健福祉環境部
3	1-(1) 保健福祉	平野 順子委員	こころの健康問題について、相談業務をしていると、近年、かなり増加傾向にあることを実感している。早期発見、早期対処はもちろんのことですが、予防にも力を入れて、日頃からメンタルダウンしないような組織内での関係性を良好にする対策も考えていただければと思う。	保健福祉環境部
4	1-(1) 保健福祉	水本 千恵子委員	地域コミュニティの課題の一つに民生児童委員の改選期ということもあり、私の住む地区でも半数以上が決まらない状況にある。明記はされていないが、アクションプランP8にも大きく関わってくるかと思うので、今後、民生児童委員を支える地域の仕組みづくりが必要になってきているような気がする。	保健福祉環境部
5	2 環境	八重畑 祐見子委員	県内の小中学校は何校が環境学習に取り組んでいるのか。子供たちに平等に支援と触れ合い心を育んで、後世につなげるために教育の機会においても理解と協力が必要だと思う。	保健福祉環境部
				教育事務所
6	3 地域づくり	平野 順子委員	長期計画を考える際に、学校教育とも綿密に連動させることが重要かなと思う。例えば、定住の促進に対する意識の醸成するためには、低年齢のころから生まれ育った町で働くことの魅力を実感するような経験を重ねていくことが必要かと思う。	教育事務所
7	3 地域づくり	水本 孝委員	人口増加策(明確な戦略と数値目標)を示すべきである。	経営企画部
8	6 ものづくり	工藤 朋委員	岩手県の工芸の普及のために県内工芸の技術を活用した美術芸術活動を支援いただけないか。伝統工芸自体に十分価値があるが、現代美術のような形で表現されると、より広い対象に伝わると思う。	経営企画部
9	7(1) 観光	工藤 朋委員	工芸や食産業に関わる人が岩手県外に出て、自らPRすることが必要だと思う。私も岩手県の企画で海外に出て日本酒などのPRをする機会を頂いたが、直接意見を目と耳で聞き岩手に関する関心を肌で感じる事が、私たちの商品を観光の中でどのように位置づけていくかを考える機会になった。インバウンドの需要はこれから伸びてくるので、旅行博などの場に「造り手」を参加させるなどの機会があるのではないかと思います。	経営企画部
10	8 農業	工藤 朋委員	岩手県の酒造好適米「結の香」は、世界中から高い評価を頂いているにもかかわらず、昨年、一昨年と、生産量が希望数量に未達となっていて、需給のバランスが取れていない。様々な課題があると思うが、農作物の生産者と、私たち需要者のマッチングを図る必要があると感じている。	農政部

	重点施策	委員氏名	御意見・御提言	回答担当
11	8 農業	嵯峨 裕紀委員	①次世代の地域農業を担う経営体の育成と②生産性・市場性の高い産地づくりの両立のバランスをどのように取って行くのか。	農政部
12	8 農業	菅原 紋子委員	農畜産物の所得向上のためのトップセールスは必要と考える。それが生産性、市場性の高い産地づくりにつながるのではないかと。	農政部
13	8 農業 3 地域づくり	菅原 紋子委員	新規就農者、移住者を増やすとあるが、市町村や産業、地域の人たちと連携しながら、その土地の特色をふまえた発信が必要だと思いができているのか。	農政部
				経営企画部
14	9 林業	八重畑 祐見子委員	県の森林税は活用されているのか。24年度から国の森林環境税(1,000円)がスタートし19年度から前倒して活用することとなっているが、ダブルなので使い道が違うのか。	林務部
15	9 林業	横澤 孝志委員	再造林については、県央圏域内での岩手県や各林業団体の支援もあり、徐々に上昇傾向にあるように思う。ただ、植えた後、利用間伐までに行う保育面(下刈りや除伐)への取り組みが弱いように感じるため、そちらにも力を入れていただきたい。	林務部
16	10 産業人材の 確保	工藤 朋委員	人材確保については、将来IUターンする可能性のある高校生に対して地元の企業を知って頂く機会が必要と思う。現状では県外の大学に進学してしまうと、岩手に戻ろうと決めて探し始めないと岩手の企業について知る機会がほとんどない。就職を考えていない人にも知ってもらうことが必要ではないかと考える。昨年行われた「ふるさと発見！大交流会 in Iwate 2018」では、県外大学からの参加者からは岩手県の企業について知る貴重な機会だったという意見があった。	経営企画部

※ いただいたご意見等は、口調を揃えるなど、一部手を加えさせていただいております。